

# 平成29年度 第36期年間事業計画発表例会

5月22日 於 久御山町ふれあい交流館ゆうホール

(有)山田工業 山田昌司

本年度最初の例会「第36期年間事業計画発表例会」を久御山ふれあい交流館ゆうホールにて開催し、28名の方にご参加いただきました。まず初めに第36期代表幹事を務めます土肥秀則より、年間テーマに掲げております「主体変容～失敗するくらい挑戦する～」の想いを胸に所信表明を語っていただきました。

続きまして、第1部では各委員会・部会よりそれぞれの委員長・部会長が「主体変容～失敗するくらい挑戦する～」をもとに、活動テーマを考案し今期の事業計画を発表いたしました。

各委員長・部会長と年間テーマは次の通りです。

委員会	委員長	活動テーマ
◆会社訪問・研修委員会	辻本委員長((有)グッドウッド KYOTO)	「素・一致・恩」～素直に受け入れ、一致団結し、人に社会に恩返し～
◆渉外・広報委員会	岡田委員長(第一工業(株))	「ONE LINK UP KISEIREN」 ～出逢いは気づきの機会～
◆交流企画委員会	松浦委員長((株)マツウラ)	「NEO KISEIREN」 ～汗をかき深める絆～
◆板金部会	三谷部会長((株)三谷合金製作所)	「天真爛漫」 ～無邪気に明るく挑戦する～
◆切削部会	小川部会長((株)オージファイン)	「加工の価値を高める情報活用」
◆経営基盤強化研究部会(K4)	高木部会長(高木金属(株))	「一燈照隅 万燈照国」

第2部では、35周年記念式典第2部で使用した「いまどきの機青連2017」のアンケート回答について振り返り、その内容をもとにグループディスカッションを行いました。

グループディスカッションでは5～6人に分かれて、アンケートにもとづいた機青連の現状(正会員・壮年会員・OB 会員の比率、全会員の年齢層や企業規模など)を確認し、自社の現在の経営状況と5年後の展望、経営者としての悩み、機青連の活動の中で有益だと思うものなどをテーマに語り合いました。

グループディスカッション終了後に各テーブルの代表者が発表を行い、それぞれに熱い議論が繰り広げられていた様子が伺えました。なかでも先輩からの体験談は、若い会員様にとって新たな意識を持つきっかけになったのではないかと思います。

この例会をきっかけに、機青連の今を感じ 未来へ繋げるために、自分がすべきことは何かを考えていただけたのではないのでしょうか。その思いを今期の事業へと繋げ、土肥代表幹事が掲げます年間テーマのもと、幹事一同事業を進めてまいりますので、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。